

修道学園(中・高)同窓会

幹事会・評議員会 議事録

1. 開催日時: 2021(令和3)年10月29日(金) 18:30~19:30
2. 開催場所: ホテルセンチュリー21広島(広島市南区的場町1-1-25)
3. 議題:

1. 内容

- (1) 修道学園(中・高)同窓会新任副会長ご挨拶
- (2) 修道中学校・修道高等学校新本館等新築工事に係る寄附活動について
- (3) その他

26回卒・広島大学トランスレーショナルリサーチセンター共同研究講座・横崎恭之 教授によるクラウドファンディングのお願い

出席者(会長・副会長・幹事・監査・評議員)(敬称略)

深山英樹	貫名 賢	伊藤學人	廣谷 清	大方幸一郎	田戸 亨
貞徳伸治	緒方直之	三宅泰雄	森本昭男	下村幸男	本西文雄
池田康武	大下龍介	中元正彦	山下 泉	大塚淳八郎	叶原一然
新本孝司	山下 浩	折出郁三	横田 守	池本 章	高木一之
藤高一男	安田邦男	岡野紀代司	久保田善之	土井 洋二	山崎健治
大岡征武	熊野澄雄	曾爾征男	津島則之	静川 周	貫名 徹
加藤和行	河村淑久	万代 峻	免出三朗	今井誠則	中川日出男
森本 訓	笹野正明	三村邦雄	森吉 努	熊野 眞	竹島 哲郎
沖 清	成田力俊	二森 寛	藤居道正	河口龍太郎	島村 誠
田中昭洋	辻井正典	佃 政治	中村誠吾	中本高明	山下 江
石津則昭	上田大輔	大谷浩司	木之上馨	柴崎雅雄	土屋博行
森上忠信	富田恵治	福原俊二	石森善貴	沖野恒己	和田章宏
蔵田 修	松井直也	本藤 修	久保田貴八郎	豊田章宏	上田道浩
小野広一	中島弘規	湯崎俊彦	大内茂稔	海生知亮	筒井直樹
栗田英樹	西村昌浩	西田天次	下郷莊平	西尾尚士	伊藤吉孝
野口隆志	河野修蔵	堂本英伸	森野貴雄	安本芳朗	赤羽隆太郎
内藤貴明	宅見優佑	小島健治	夏 健弘		

(100名)

学園関係者(敬称略)

(26回生)横崎恭之

(1名)

事務局

竹川誠 大橋康雄 森井啓治 島本佳代子 三倉拓

(5名)

議事および審議の結果

議案の審議に先立ち、事務局より出席者数の報告、開会の宣言がなされた。議事進行は深山会長が行い、議案審議が開始された。

1.

(1) 修道学園（中・高）同窓会新任副会長ご挨拶

新任の同窓会副会長4名が自己紹介を兼ねた新任の挨拶をされた。

2. 議題

(1) 新本館等建築に係る寄附募集について

深山会長より、資料2枚に沿って説明が行われた。

(2) 質疑応答

深山会長より【資料】に沿って各回の募金状況が説明され、今後同期によってなお一層の募金活動を推進するようにお願いされた。

深山会長(12回)：資料をご覧ください、資料は10月28日現在の、学年別(卒業回数別)の入金件数と入金金額である。47回以降の数値が一桁である。年次が若くなると入金がすこし低調になってきている。この理由には、顔を合わせて盛り上げていたかかないと、若い人達には電話手紙 SNS だけでは、なかなか入金をお願いすることが難しいと思う。これが低調な理由である。これからどうするか、同期会等で直接会う機会を是非もうけていただきたい。2021年度が1年目、2024年まで、3年実質(後2年半)の活動の方向について、参考になるご意見を伺いたい。また現在の状況について、お話しいただき、それぞれのご意見をお伺いしたい。

貫名副会長(14回)：前回20年前に校舎建設に係る、寄付活動で苦労した。今回は環境が悪くて、コロナ禍の中で大変厳しいスタートとなっている、今必要なのは、テーマということではなく、お金を集めると言うことでなく、修道の良さは、縦と横のつながりの強さ、つながりが強いと言うことが修道の良さである。学年の中でつながる為には、連絡網がなければならぬ、また、声掛け運動ができる名簿がなければいけない。連絡網は学年ごとに工夫していることと思います。基本的には、丁寧に声掛け運動をしてたくさんの人数の人がこの活動に参加していただきたい。なんといっても300周年です。こういうことで出会うことはないと思うので協力していただきたい。本日、122人の幹事さんのうち62人の幹事が参加していた。幹事さんに縦横のつながりをよろしく願いいたします。

伊藤副会長(20回)：現在何も動いていない。同期大会も同期会も2年続いて開催できていない。声掛けができていない。コロナを終息後に、まず同窓会の幹事会、同窓大会、その後同期会を開催し、募金活動に推進します。

廣谷副会長(28回)：先ほどよりご説明をされておりますように、同窓大会が2年間できていない。仲間と会う機会がない。28回はそれでも同期が集まって、情報交換をしている。また、来年1月2日に同期会を開催するので、この11月には幹事が集まって寄付の話をしてみようと思う。28回は、私くらいの年になると広島を懐かしんでたくさんの同期が寄付をしてくれている。実際に会って声をかけるのが基本中の基本だと思うので、今後2年間寄付を集めるのを一生懸命がんばりますので、どうぞよろしく願いいたします。

大方副会長(38回)：同窓大会が中止となっているので、例年7月に若い幹事に同窓大会チケット等を配布することができて顔を合わせていたのだが、同窓大会が無い今はできていません。47回以降の若い幹事に対しての声掛けを、新しい4名の副会長ともに、活動していきたいと思っております。引き続きよろしく願い致します。

田戸副会長(40回)：40回も声掛け等できていない。来年にはコロナも落ち着くとは思っているので、その状況の中で顔を合わせて寄付の話をしていきたい。また SNS 等でグループが出来ているのでそれを活用して、これからやっていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

貞徳副会長(42回)：コロナということもあってまだ声掛けができていない。寄付ということをきっかけに、集まると言うことが重要であると思っております。接点を持つ事で集合して活動していきたい。引き続き皆様よろしく願いいたします。

緒方副会長(44回)：先ほどよりお話しがありますように、学年では、年末に同期会をすることにはしていますがコロナもあって集合ができていません。同級生同士で話をすれば母校であるのでわかってはいただけるのであるが。話をする中で、我々の年代では、インセンティブ(目標を達成するための刺激・要因)があってもいいのかと思っています。我々の世代ではバッチが懐かしいねとか話になります。若い卒業回数の方々が、申込件数かける三万円となっていないのは、なにか要因があるのではないかと考えております。いずれにしても、諸先輩方に負けないように頑張っていきますので宜しくお願い致します。

三宅副会長(48回)：さきほどから48回から下の目標金額が一桁で、件数と金額があがっていない、活動ができていないと話が出ています。かれらは、名簿上では繋がっていないように見えますが、SNS上では繋がっているという状況です。今一度声掛けしていきたいと思えます。いずれにしても、年末年始の同期会等が行われると思えますので、その時、お声掛け等させていただきます。また卒業回数の、上下で知り合いの方がおられましたら、お声掛け等よろしく願いいたします。また、私も声掛けをしていきますので、私にできることがございましたら、お聞かせください。どうぞよろしく願い致します。

深山会長(12回)：ありがとうございました。副会長からもご意見をいただきました。来年には、コロナの状況も改善するかとおもいますので、同期会等開催されることも増えてくるとも思いますので、協力を推進していこうと考えております。また若い方がやっておられるSNS等、あるいは郵送、電話等が必要ではないと思っております。しかしながら、2年目くらいまでにめどをつけないと、3年目になると先細ってくるのではないかという気がいたしております。

総建設費32億のうち、25億が自己資金で、2億が寄付、5億が借入れとなっております。目標として考えておりますのは、各学年人数の4割の方に一口3万円を掛けまして出しましたのが、各学年別の目標金額でございますので、なにとぞ目標金額が各学年の、到達目標としてお願い致しますと思っております。なお、ほかにご質問等がございますか？

湯崎幹事(34回)：よろしく願いいたします。私は市役所に在籍しております。市の職域の中で広島市修道会をいうのを作っております。こちらでは、修道大学の方も含まれておりますので、今中央のほうで、修道高校の分科会というのを作ろうと話しております。こちらの活動で頑張れば、20代の方等から少しは集められるのではないかと話しております。

折出幹事(9回)：正直なところ、募金用の振込用紙をなくしているものが多いと思う。コロナで会うこともかなわないので、振込用紙と趣意書の再度の配布等を考えていただけませんか？

竹川事務局長：はい。現在の予定では今年度末、来年度末、再来年度末に、年度末に後4回ほど、3月から4月にかけて、趣意書並びに振込用紙の再配布を考えております。一度募金等を頂いた方には、何度も趣意書・振込用紙等をお送りする事にはなりますが、何卒ご理解いただきたいと思っております。

深山会長(12回)：本校ホームページには募金についての内容は掲載されていますか？

竹川事務局長：はい、本校ホームページには、募金関係の内容は掲載しております。

静川幹事(15回)：来年度も趣意書・募金用紙を送っていただけるということですね。年度が変われば、控除ができるので、再度お送りいただけるということであれば、私も同期に推進していきます。

中川評議員(17回)：私は、学校を経営している。学校経営においては、寄付については集まりにくい。何度も何度も言わないと難しいことになっている。私ども17回は、毎同期会をおこなっている。今は同期会を開催していない。今後は皆で集まって、目標額を集めていきたいと思っている。

深山会長（12回）：今、私と副会長と一緒に広島を代表する企業を30社ほど廻っております。心よく面会については、していただいております。ただ、20年前の校舎建設の状況と違って、なかなか企業としても難しい状況であるということであるが、なんとか頑張らましようと言うお言葉をいただいております。今後とも、手分けして企業を廻っていきたいと思っております。今後は、対面で、各学年で馬力をかけていただいて、活動しながら目標額を達成したいと思っております。

深山会長より質疑応答終了のアナウンスがあった。

3. クラウドファンディングへの協力をお願い

クラウドファンディングについて26回卒横崎恭之様より、クラウドファンディング立ち上げとそれに伴う協力をお願いがなされた。

4. 今後の予定

事務局より、2022（令和4）年3月11日（金曜日）修道学園同窓会連合会および修道学園（中・高）同窓会合同の幹事会・評議員会を開催する旨説明がなされた。

閉会宣言

深山会長より閉会宣言がなされた。

以上

※ 幹事会資料には個人情報等の記載もあり、この場には掲載しておりません。閲覧を希望される方は同窓会事務局までご連絡ください。

※ 修道学園同窓会連合会・修道学園（中・高）同窓会ホームページ
修道学園同窓会連合会・修道学園（中・高）同窓会事務局

<https://dosokai.shudo-h.ed.jp/>

電話 082-241-6686

FAX 082-249-0870

E-mail dosokai@shudo-h.ed.jp